

# ふれあいバスの利用意向と 改善策についてのアンケート調査

## 報 告 書

令和 3 年 1 月

川越町

# 目 次

<b>序 章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査の概要 .....	1
(3) 報告書の見方 .....	1
<b>第1章 回答者のプロフィール</b> .....	<b>2</b>
(1) 性別・年齢 .....	2
(2) 居住地 .....	3
<b>第2章 日常的な移動手段の状況</b> .....	<b>4</b>
(1) 車の運転と運転免許証の保有 .....	4
(2) 今後の車の運転意向 .....	5
(3) 町内での買い物や病院などへの移動手段 .....	6
<b>第3章 ふれあいバスの利用状況</b> .....	<b>7</b>
(1) ふれあいバスの利用状況 .....	7
(2) ふれあいバスの印象 .....	8
<b>第4章 今後のふれあいバスの利用意向</b> .....	<b>9</b>
(1) ふれあいバスの今後の利用意向 .....	9
(2) ふれあいバスの今後の利用目的 .....	10
(3) 今後のふれあいバスで利用する具体的な場所 .....	11
(4) ふれあいバスの今後の利用頻度 .....	12
(5) ふれあいバスの希望運賃 .....	13
(6) ふれあいバスを利用したい時間帯 .....	14
(7) 現在の運休日での利用意向 .....	15
(8) 希望する運行頻度 .....	16
(9) ふれあいバスを利用するための条件 .....	17
(10) デマンド交通の利用意向 .....	18
(11) 移動手段を確保するために必要な行政支援 .....	19

### (1) 調査の目的

本町では平成 20 年から日常生活の交通移動手段として、ふれあいバスを運行していますが、近年、運転免許証の自主返納も増加しており、今後到来する超高齢社会に向けて、高齢者の移動手段を確保するため、ふれあいバスなどの地域公共交通の維持・充実に取り組んでいくことが求められます。

そこで、ふれあいバスを含め、今後の公共交通の充実に向けた改善策等の検討資料を作成するために、公共交通の利用の可能性や利用するための条件などを把握するためのアンケート調査を実施しました。

### (2) 調査の概要

本調査の概要は、以下に示すとおりです。

- 調査対象：町内に居住する 65 歳以上の住民
- 調査方法：郵送配付・郵送回収
- 調査時期：令和 2 年 11 月 11 日（水）～11 月 30 日（月）
- 配布数：500 票
- 回収数：382 票
- 有効回収数：382 票
- 有効回収率：76.4%

### (3) 報告書の見方

- 図中の構成比（％）は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は 100.0%になりません。
- 表、グラフ等の見出し及び文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。
- グラフ内の「n＝〇〇」は、その回答母数を表わしています。

# 第1章 回答者のプロフィール

## (1) 性別・年齢

問1 あなたの性別・年齢を教えてください。

### ①性別

◆男性 41.9%、女性 56.0%と、女性の回答者が多くなっています。

○回答者の性別をみると、「男性」が 41.9%、「女性」が 56.0%と、女性の割合が 14.1 ポイント高く、女性の回答が多くなっています。

○令和2年10月1日現在の65歳以上人口の性別では、「男性」が 1,265 人 (43.7%)、「女性」が 1,631 人 (56.3%) であり、上記の結果と同じような状況になっています。

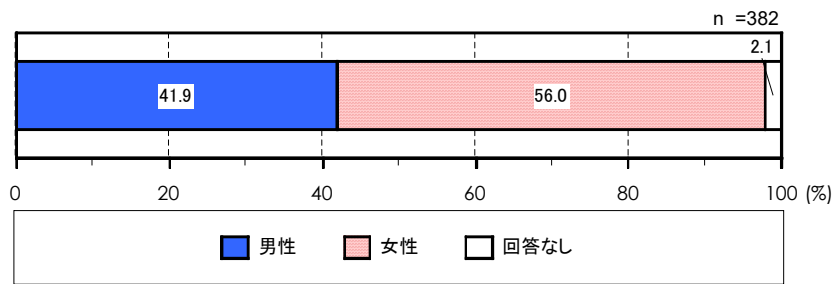


図 1-1 性別

### ②年齢

◆70～74歳、65～69歳の前期高齢者の回答が多くなっています。

○回答者の年齢をみると、「70～74歳」が 37.2%で最も割合が高く、次いで「65～69歳」(29.6%)、「75～79歳」(28.5%)、「80歳以上」(4.7%) となっています。

○令和2年10月1日現在の65歳以上の年齢別人口では、「65～69歳」が 630 人 (21.8%)、「70～74歳」が 760 人 (26.2%)、「75～79歳」が 603 人 (20.8%)、「80歳以上」が 903 人 (31.2%) であり、80歳以上を除くと同じように70～74歳、65～69歳の割合が高くなっています。

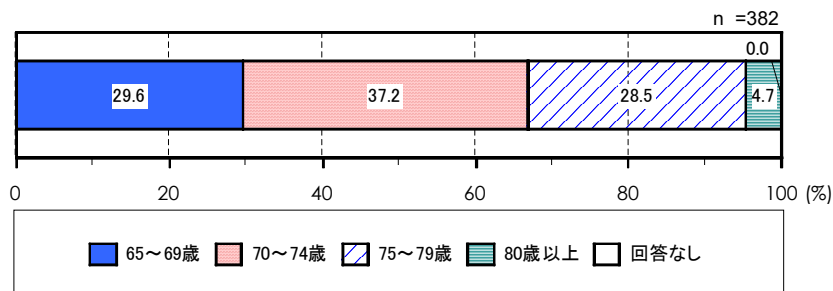


図 1-2 年齢

(2) 居住地

問2 あなたがお住まいの地区を教えてください。

◆豊田地区、南福崎地区、豊田一色地区、高松地区の回答者が多くなっています。

○回答者の居住地区をみると、「豊田地区」が21.2%で最も割合が高く、次いで「南福崎地区」(16.8%)、「豊田一色地区」(14.4%)、「高松地区」(14.1%)と続いています。

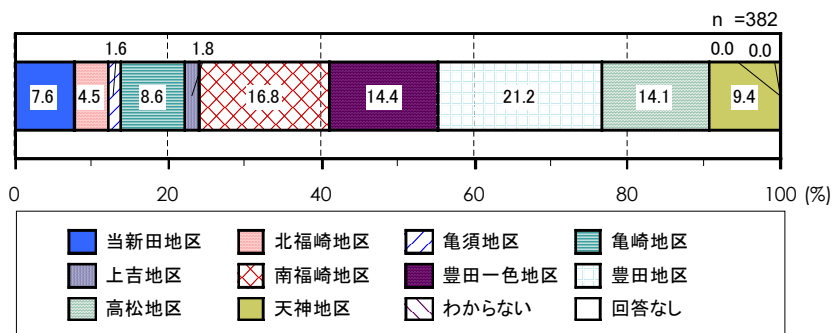


図 1-3 居住地

## 第2章 日常的な移動手段の状況

### (1) 車の運転と運転免許証の保有

問3 あなたは自分で車を運転することができますか。また、運転できない方は運転免許証を保有していますか。(あてはまるもの1つに○)

◆自分で車を運転しているが74.9%、運転していない・できないがあわせて24.4%、そのうち免許を返納した方が7.3%となっています。

○車の運転については、「自分で運転している」が74.9% (286名)、「運転免許証は持っているが運転していない」が2.4%、「運転免許証を返納したため、運転できない」が7.3%、「以前から運転免許証を持っておらず、運転できない」が14.7%となっており、自分で車を運転している方が74.9%、運転していない・できない方があわせて24.4%となっています。

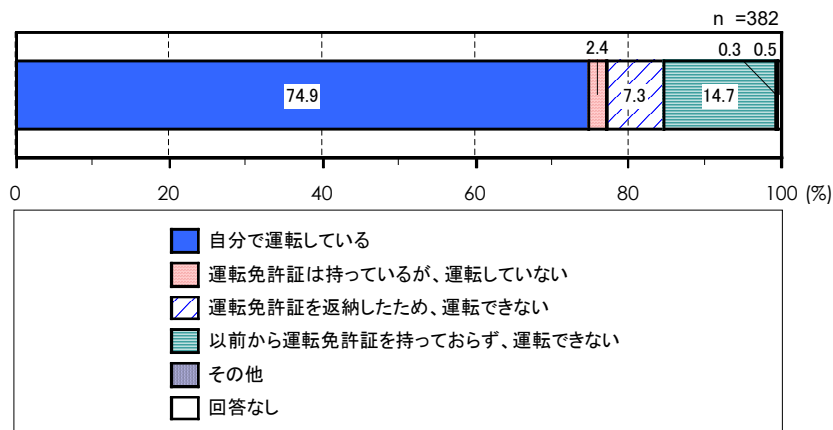


図 2-1 車の運転と運転免許証の保有

## (2) 今後の車の運転意向

問4 問3で「1. 自分で運転している」と回答した方におたずねします。  
あと何年間ぐらい自分で運転をしたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

◆「運転をやめるつもりはあるが、時期はわからない」(46.2%)をはじめ、現時点では回答者の全員が当分は運転をやめるつもりがないと回答しています。

○「自分で運転している」と回答した286名の今後の車の運転意向については、「運転をやめるつもりはあるが、時期はわからない」が46.2%で最も割合が高くなっています。次いで「5年くらいは運転を続けると思う」が28.0%、「2～3年は運転をすると思う」が14.0%、「運転をやめるつもりはない」が9.4%と続いています。

○なお、「すぐにでも運転をやめたいと考えている」は0.0%となっています。

○その他として、80歳まで運転したい、あと7～8年、身体が動くかぎりなど、当分は運転をやめるつもりのない意見となっています。

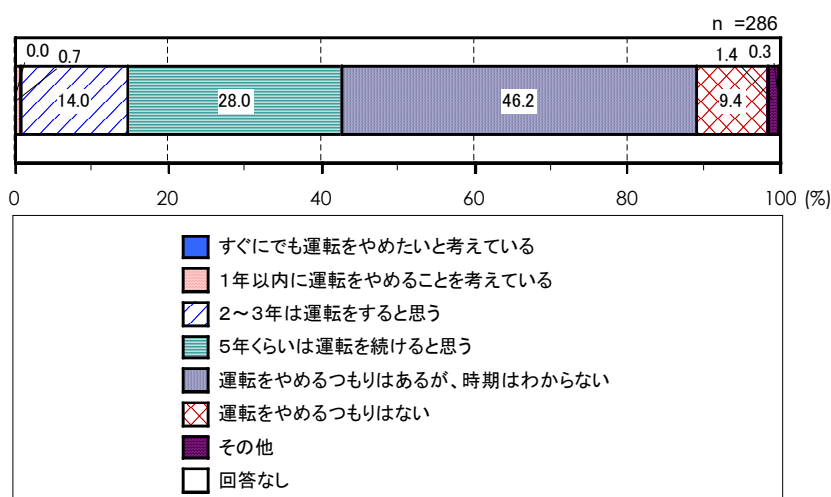


図 2-2 今後の車の運転意向

(3) 町内での買い物や病院などへの移動手段

問5 あなたは、町内で買い物や病院などに出かける際、どのような交通手段で移動されていますか。(あてはまるもの全てに○)

◆町内の移動手段は、「自分の車」、「家族の車」、「徒歩」、「自転車」が多く、「ふれあいバス」は6.5%となっています。

○町内での移動手段については、自分で車を運転している方が多いこともあり、「自分の車」が72.3%で最も割合が高くなっています。次いで、「家族の車」が30.1%、「徒歩」が24.1%、「自転車」が23.3%、「ふれあいバス」が6.5%、「タクシー」が5.2%と続いています。

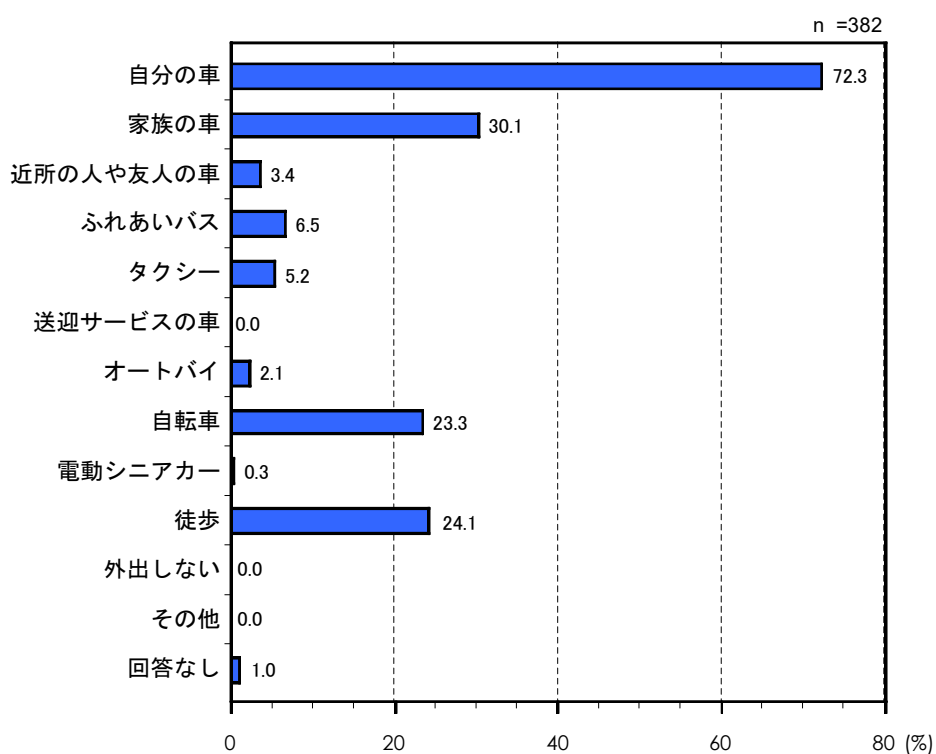


図 2-3 町内での買い物や病院などへの移動手段



### 第3章 ふれあいバスの利用状況

#### (1) ふれあいバスの利用状況

問6 あなたは、川越町内を巡回しているふれあいバスを利用していますか。  
(あてはまるもの1つに○)

◆ふれあいバスを利用したことがない方が79.6%を占めています。

- ふれあいバスについては「利用したことがない」が79.6%で最も割合が高くなっています。次いで「たまに利用している」が9.2%、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が6.3%、「定期的に利用している」が1.8%となっています。
- なお、その他として、「1～3回くらいの利用したことがある」(8名)、「年に1、2回利用している」(2名)となっています。

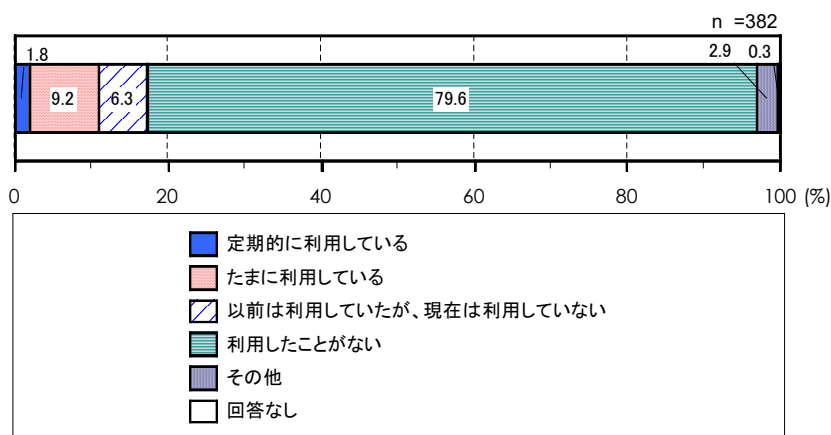


図 3-1 ふれあいバスの利用状況

## (2) ふれあいバスの印象

問7 あなたは、ふれあいバスに対してどのような印象を持っていますか。  
(あてはまるもの全てに○)

◆ふれあいバスの印象は、「遠回りしていくため、目的地までの乗車時間が長い」、「いつも乗車人数が少ない」など、悪い印象を持っており、「便利に利用できる」の良い印象は20.4%となっています。

○ふれあいバスについての印象は「遠回りしていくため、目的地までの乗車時間が長い」が40.6%で最も割合が高くなっています。次いで「いつも乗車人数が少ない」が37.7%、「いつ、どこを走行しているか、バスの乗り方がわからない」が24.3%、「都合のよい時間帯にバスがない」が24.1%、「便利に利用できる」が20.4%、「バス停が近くにない」が13.6%となっています。○なお、その他として、「乗ったことがないのでわからない」、「ふれあいバスがあるとは知らない」、「要介護4のため利用できない」、「利用する必要がない」、「乗り物酔いする」、「免許を返納した時から利用させてもらいたい」、「子育ての人に有効な使われ方も考えてほしい」などの意見があります。

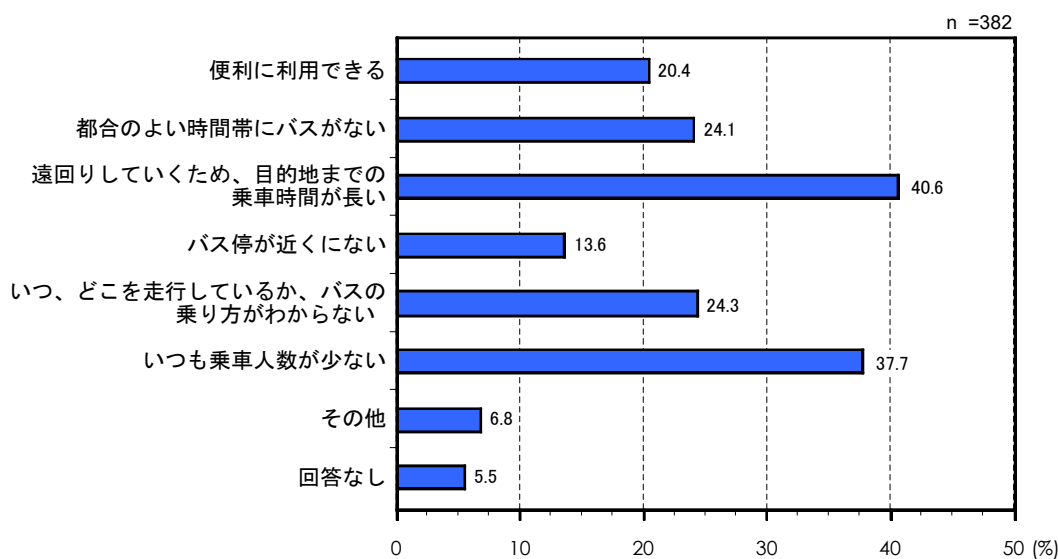


図 3-2 ふれあいバスの印象

## (1) ふれあいバスの今後の利用意向

問8 今後、ふれあいバスが改善された場合等、利用する可能性がありますか。  
(あてはまるもの全てに○)

- ◆ふれあいバスの今後の利用意向については、「自家用車を運転できなくなれば利用すると思う」が多くなっています。また、バス停、運行ルート、時間帯などが改善されれば利用すると思っている方が、それぞれ2割程度となっています。
- ◆なお、「現状のままで利用すると思う」が16.5%で、逆に「将来的にも利用しないと思う」11.8%となっています。

○ふれあいバスの今後の利用意向については「自家用車を運転できなくなれば利用すると思う」が62.8%で最も割合が高くなっています。次いで「運行ルートが改善されれば利用すると思う」が25.4%、「運行の時間帯が改善されれば利用すると思う」が20.2%、「バス停が近くなれば利用すると思う」が16.8%、「現状のままで利用すると思う」が16.5%、「将来的にも利用しないと思う」11.8%となっています。

○なお、その他として、「利用する人のニーズ（最寄りの駅、スーパー、病院等）に対応すると便利」、「どこでも手をあげれば乗れるようになればいい」、「日曜日でも運行していれば利用する」、「家族に乗せてもらえなくなったら利用する」、「運行ルートがわからないので、バス停、運行ルートの明記がほしい」、「タクシーの代わりに朝日駅まで運んでほしい」、「もっと多くの町民が有効使用できるよう考えてほしい」などの意見があります。

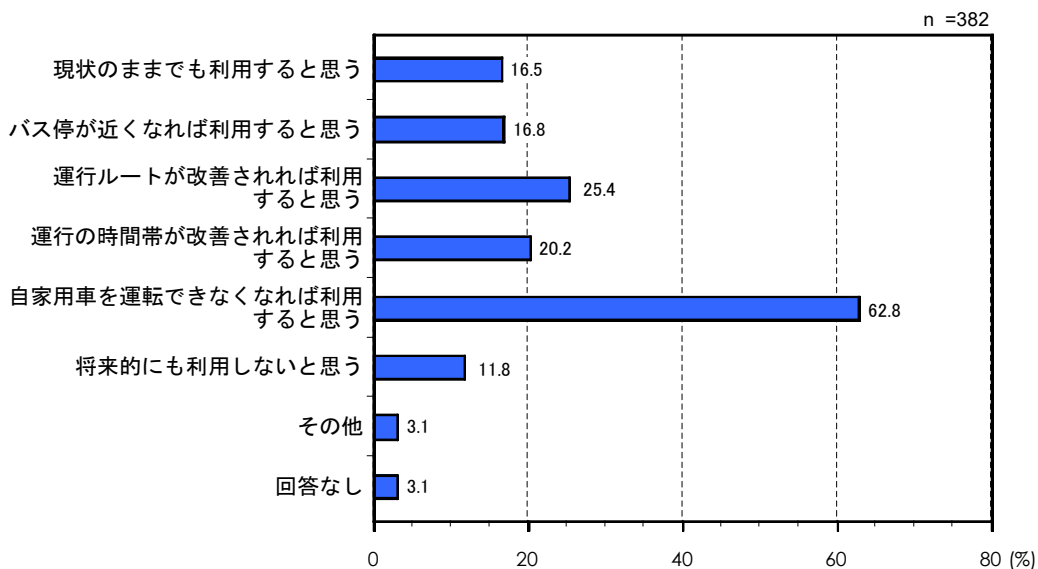


図 4-1 ふれあいバスの今後の利用意向

## (2) ふれあいバスの今後の利用目的

問9 問8で「1～5」を回答した「今後、ふれあいバス等を利用する可能性がある方」におたずねします。

問9-1 どのような目的で利用したいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

◆今後のふれあいバスの利用目的は、買い物、役場や銀行等への手続き、通院、駅などが多くなっています。

○問8で「1.現状のままでも利用すると思う」、「2.バス停が近くなれば利用すると思う」、「3.運行ルートが改善されれば利用すると思う」、「4.運行の時間帯が改善されれば利用すると思う」、「5.自家用車を運転できなくなれば利用すると思う」と回答した320名の今後の利用目的については、「買い物」が62.5%で最も割合が高くなっています。次いで「役場や銀行、郵便局などへの手続き」が56.3%、「通院」が53.8%、「町外へ行くための駅へのアクセス」が53.1%、「あいあいホールや中央公民館などの公共施設の利用」が39.1%と続いています。

○その他の利用として、「幼稚園、保育園への送り迎え」、「雨降りの日や足のケガ等、自力で移動しにくい時」となっています。

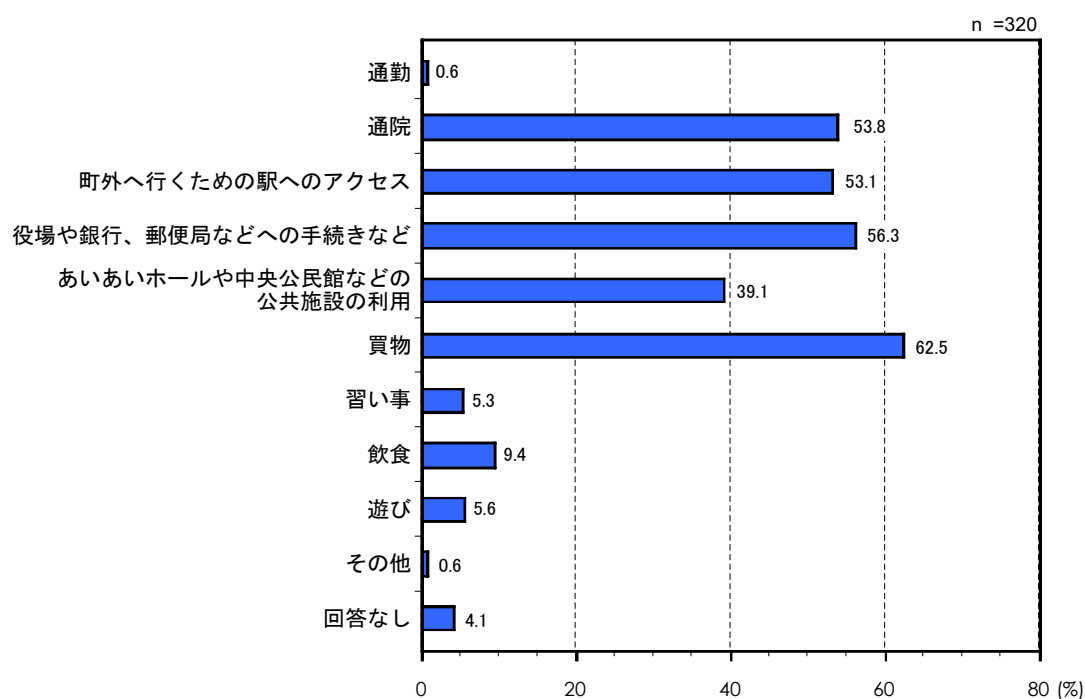


図 4-2 ふれあいバスの今後の利用目的

(3) 今後のふれあいバスで利用する具体的な場所

問 9-2 具体的にどの場所まで利用したいと思いますか。具体的な場所をご記入ください。

- ◆150名より303件の回答があり、ふれあいバスで利用した場所については、役場をはじめ、イオン四日市北、スーパーサンシ、マックスバリュなどの買い物先、川越富洲原駅、伊勢朝日駅、あいあいホール、川越診療所、中央公民館が多くなっています。

表 4-1 今後のふれあいバスで利用する具体的な場所

分類	場所	件数
公共施設	役場	56
買い物先	イオン四日市北	40
駅	川越富洲原駅	37
駅	伊勢朝日駅	29
買い物先	スーパーサンシ	23
買い物先	マックスバリュ	18
公共施設	あいあいホール	17
病院	川越診療所	12
公共施設	中央公民館	11
公共施設	いきいきセンター	7
JA	JA	4
買い物先	カインズ	4
買い物先	トライアル	4
体育施設	総合体育館	4
買い物先	オークワ	3
病院	富田浜病院	3
駅	桑名駅	2
駅	JR朝日駅	2
駅	JR富田駅	2
買い物先	ケーズデンキ	2
娯楽	あさひの湯	2
体育施設	川越運動場	2
病院	川越あさひ眼科	2
病院	うえのクリニック	2
病院	渡辺病院	2
郵便局	川越富洲原郵便局	2
買い物先	ディオワールド	1
銀行	三重銀行川越支店	1
公園	浄化センター公園	1
公園	中電公園	1
公共施設	社協前	1
病院	伊藤医院	1
病院	桑名 ヨナハ病院	1
病院	桑名医療センター	1
病院	やましたクリニック	1
病院	吉村耳鼻科	1
その他	高松の松乃鮎あたりの場所	1
	計	303

(4) ふれあいバスの今後の利用頻度

問 9-3 どれくらいの頻度で利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

◆ふれあいバスの今後の利用頻度は、「たまに利用する」、「週に1～2回程度利用する」が多くなっています。

○今後、ふれあいバス等を利用する可能性がある320名の今後の利用頻度は、「たまに利用する」が30.9%で最も割合が高くなっています。次いで「週に1～2回程度利用する」が29.4%、「月に1～2回程度利用する」が16.9%、「雨の日に利用する」が8.1%、「週3日以上利用する」が5.9%となっています。

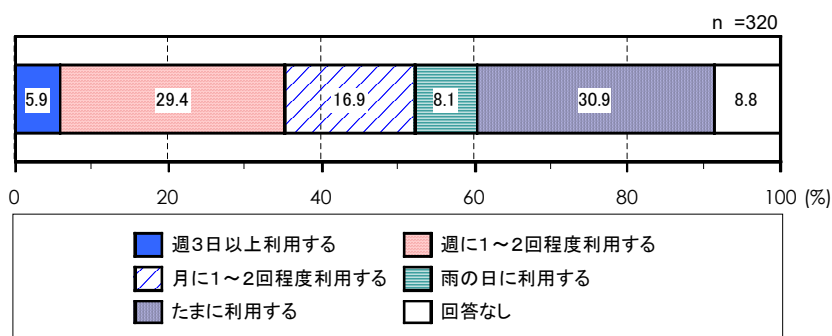


図 4-3 ふれあいバスの今後の利用頻度

(5) ふれあいバスの希望運賃

問 9-4 現在、ふれあいバスは運賃が無料になっていますが、片道運賃がいくらまでなら利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

◆希望する片道運賃は、「100円まで」が多く、平均運賃は107円となっています。

- 今後、ふれあいバス等を利用する可能性がある320名が希望する片道運賃は、「100円まで」が44.1%で最も割合が高くなっています。次いで「無料なら」が25.3%、「200円まで」が18.4%、「300円まで」が6.9%となっています。
- 未回答を除く303名の平均運賃は107円となっています。

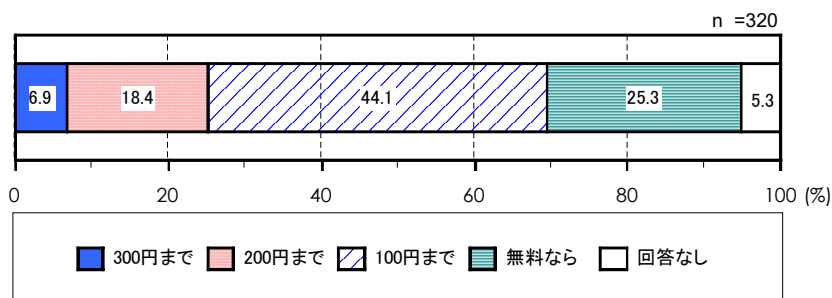


図 4-4 ふれあいバスの今後の希望運賃

(6) ふれあいバスを利用したい時間帯

問 9-5 現在、ふれあいバスは朝7時台から18時台まで1日8便を北コースと南コースのそれぞれで運行していますが、利用したい時間帯がありますか。  
(【始発】【終発】のそれぞれで、あてはまるもの1つに○)

◆利用したい時間帯として、始発は「8時台から」、終発は「夜19時台まで」が多くなっています。

○始発として利用したい時間は、「朝8時台から」が46.3%で最も割合が高くなっています。次いで「朝7時台」が22.8%、「朝6時台」が6.3%、「朝5時台」が1.3%となっています。  
○終発として利用したい時間は、「夜18時台まで」が36.9%で最も割合が高くなっています。次いで「夜19時台まで」が24.7%、「夜20時台まで」が7.2%、「夜21時台まで」が3.8%となっています。

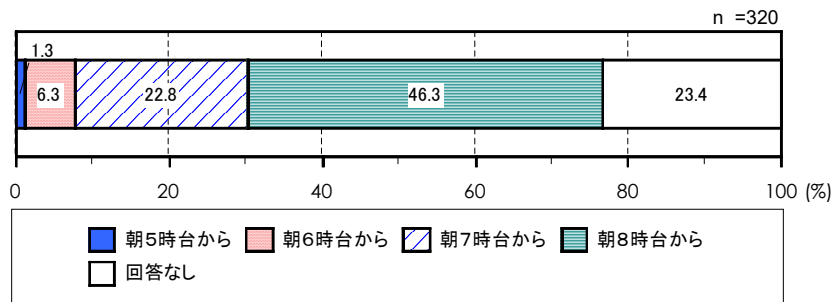


図 4-5 ふれあいバスを利用したい時間帯【始発】

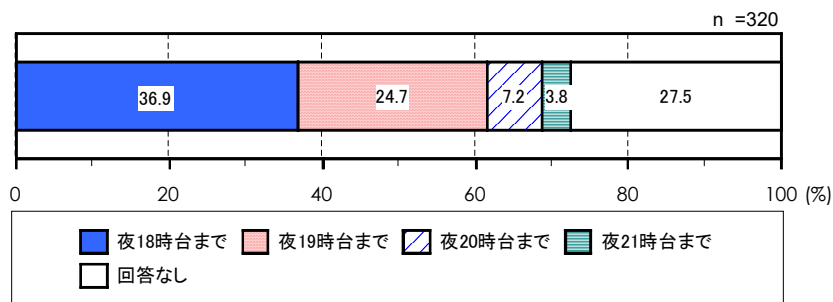


図 4-6 ふれあいバスを利用したい時間帯【終発】



(7) 現在の運休日での利用意向

問 9-6 現在、ふれあいバスは月曜日から土曜日に運行していますが、現在の運休日に運行していれば利用したいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

◆現在の運休日に運行しても利用する予定がない方が多くなっていますが、現在の運休日の中では、日曜日の利用意向が高くなっています。

- 現在運休日となっている「日曜日」、「祝日」、「年末年始」などに運行した場合の利用意向については、「利用する予定はない」が43.8%で最も割合が高くなっていますが、そのような中でも運休日での利用意向については、「日曜日」が27.5%で最も割合が高く、次いで「祝日」が18.4%、「年末年始」が6.6%となっています。
- なお、利用目的については、日曜日、祝日、年末年始ともに、「買物」、「駅までのアクセス」、「運動会など町のイベント等への参加」などの意見が多くなっています。
- また、その他として、「町のイベント（運動会、敬老の集い、ふれあいまつり等）の時」、「食事の時」、「目的がある日のみ」、「休日にも利用できればうれしい時もあるが、贅沢は言えない」などの意見があります。

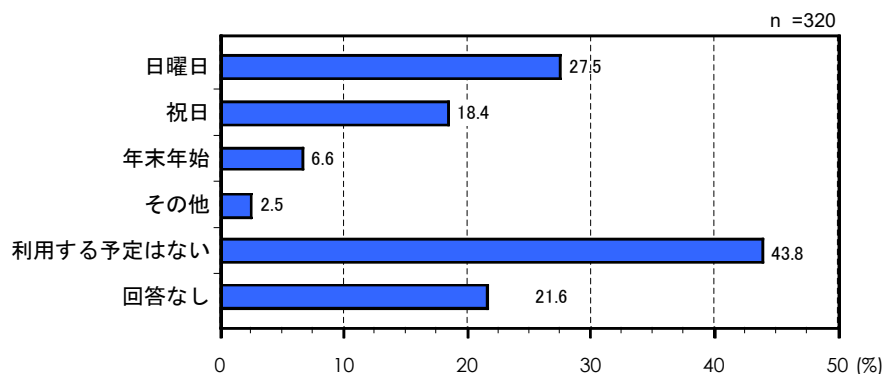


図 4-7 現在の運休日での利用意向

表 4-2 現在の運休日での利用意向（利用する目的）

	日曜日	祝日	年末年始
買物	31	13	7
駅までのアクセス	10	5	2
町のイベント等への参加	8	8	-
その他の外出	6	6	1
利用目的 記述なし	37	31	12

(8) 希望する運行頻度

問 9-7 現在、ふれあいバスは朝7時台から18時台まで北コースと南コースのそれぞれで1時間に1便を運行していますが、どれくらいの運行頻度であれば利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

◆運行頻度は現在と同じ1時間に1便や30分に1便を希望する方が多くなっています。

○運行頻度については「1時間に1便(現在と同じ程度)」が38.1%で最も割合が高くなっています。次いで「30分に1便」が37.5%、「午前、午後にそれぞれ2便程度」が4.1%、「15分に1便」が3.1%となっています。

○なお、その他として、「今は車で行くので、必要度数がよくわからない」、「現状ではわからない」、「目的によって異なると思う」、「現状、1ヶ月1年間にどのくらいの方が利用しているか、個人的にわからない」、「今はまだ利用しない」などの意見があります。

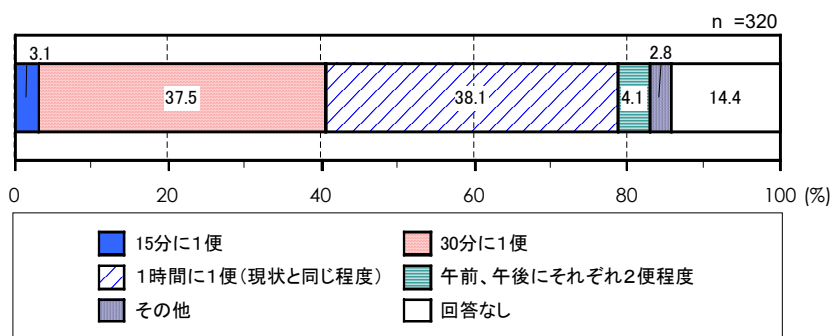


図 4-8 希望する運行頻度

(9) ふれあいバスを利用するための条件

問10 今後、ふれあいバスを利用するための条件として重要なことは何ですか。  
(あてはまるもの全てに○)

◆利用する条件としては、希望する場所に行けること、バス停が近いこと、短時間で  
行けることなどが多くなっています。

○ふれあいバスを利用する条件としては「希望する場所に行けること」が53.4%で最も割合が高くなっています。次いで「家や目的地からバス停が近いこと」が40.1%、「目的地まで短時間で  
行けること」が38.5%、「希望する時刻の便があること」が36.6%、「運賃が無料である  
こと」が29.6%、「運行本数が多いこと」が28.5%、「乗り降りや座席など、乗車しやすい車両  
であること」が17.5%となっています。

○なお、その他として、「密にならないこと」、「月一度のいきいきセンター行きの時、席の乗客  
が多くて亀須地区まで立ち乗りなることの改善」、「安全で安心できる運転をしてもらえる  
こと」、「本数が多くても一方通行では困る。帰りが不便。一方通行ではなく、右回り左回りして  
ほしい」、「運行を続けてほしい。廃止にならないこと」、「効果的に利用できること（マイカー  
を手放しやすくなる）」などの意見があります。

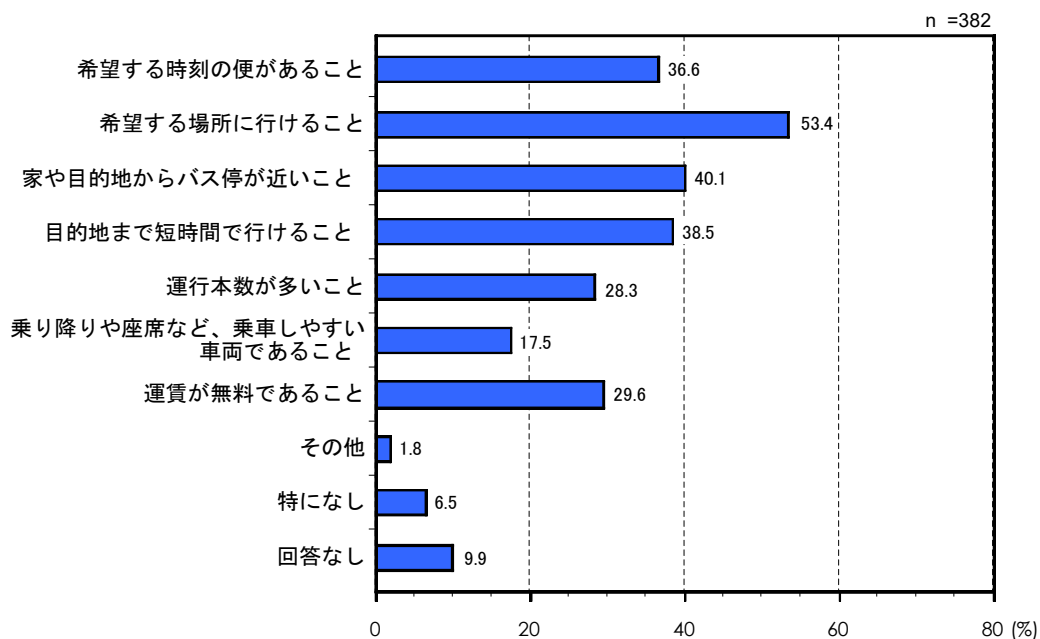


図 4-9 ふれあいバスを利用するための条件

(10) デマンド交通の利用意向

問 11 運賃が有料で、事前に予約して、自宅から目的地まで相乗りで運行する車両（ワゴン車タイプ）があった場合、利用すると思いますか。（あてはまるもの全てに○）

◆デマンド交通については、「必要になった場合に利用すると思う」をはじめ、条件次第で利用したいと考えている方が合計 75.6%を占めています。

○デマンド交通について、「ぜひ利用したい」が 13.1%、「必要になった場合に利用すると思う」が 64.1%、「料金したいで利用すると思う」が 24.9%、「利用しないと思う」が 18.6%となっており、「利用しないと思う」と「回答なし」を除いた、条件次第で利用する方が全体の 75.6%を占めています。

○なお、その他として、「今は車を運転しているが、しなくなったら使いたい」、「事前の予約でなく、今急用ができ電話したら来てくれる予約なら利用する」、「アプリを入れて、何分後に到着するかわかるようにしてほしい」などの意見があります。

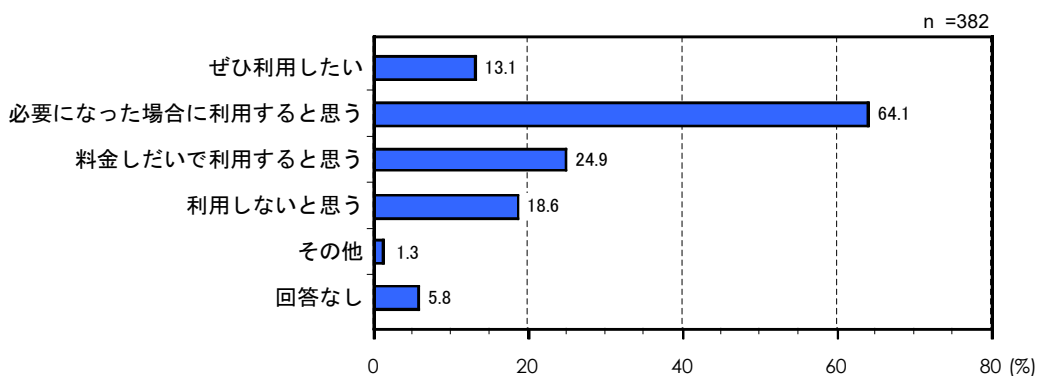


図 4-10 デマンド交通の利用意向

(11) 移動手段を確保するために必要な行政支援

問 12 住民の移動手段を確保するためにどのような行政支援があれば良いと思いますか。  
(あてはまるもの全てに○)

◆移動手段を確保するために必要な行政支援としては、「ふれあいバスの運行ルートやダイヤの変更」、「タクシー運賃の助成」、「バス車両の小型化」、「予約制のバス運行」のニーズが高くなっています。

○必要なデマンド交通について、「ふれあいバスの運行ルートやダイヤを変更し、利便性を高める」、「タクシー運賃を助成する」がそれぞれ 35.6%で最も割合が高くなっています。次いで「バスの車両を小さくし、狭い道でも運行できるようにする」が 35.3%、「予約制で自宅から行きたい場所に行けるバスを運行する」が 34.3%と、これらの行政支援は 35%前後を占めています。しかし、「住民同士の助け合いで送迎できる仕組みをつくる」は 10.5%と少なくなっています。

○なお、その他の支援策として、「タクシーだと都合の良い時間、行き先が希望できるので、タクシー運賃を割引してもらえる制度がほしい」、「病院までのタクシー運賃を安く割引してほしい。(70歳以上、税金に関係なく)」などの意見があります。

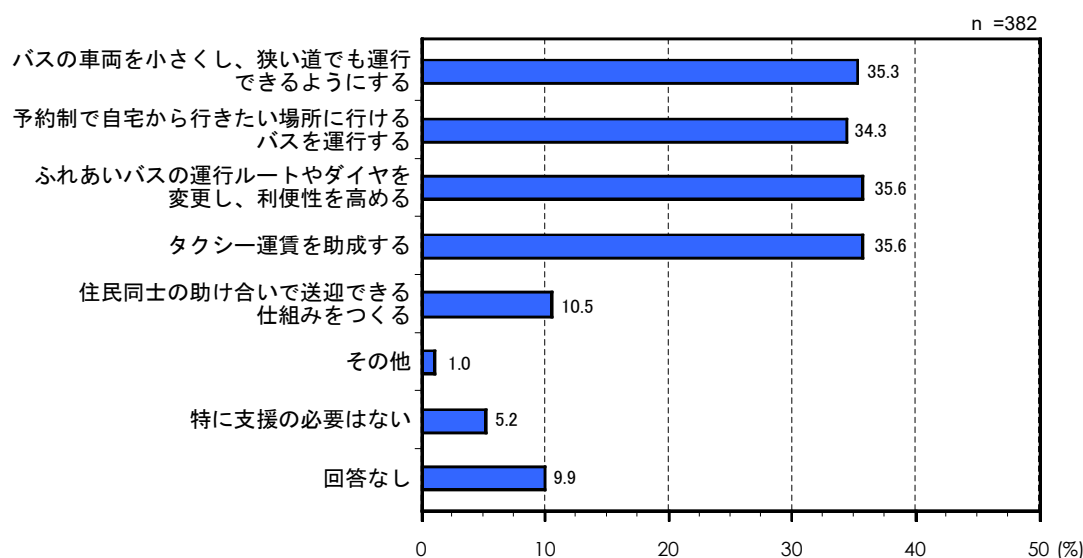


図 4-11 移動手段を確保するために必要な行政支援

ふれあいバスの利用意向と改善策についてのアンケート調査 報告書  
令和3年1月

発行／川越町役場 企画情報課

TEL 059-366-7112 FAX 059-364-2568

E-mail : k-kikaku@town.kawagoe.mie.jp